

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212P108	看護の対象論 ( Introduction to human being and human health )	専門教育科目・看護学全般

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	1	通年	前期 木4 後期 月4	清村紀子、原田千鶴、佐藤祐貴子、野上龍太郎、他 内線：5032 e-mail: kmnoriko@

### 【授業の概要・到達目標】

本科目は「看護学概論」とともに、看護学を学ぶにあたっての導入科目の位置づけにあり、「人間とは何か」を中心的問いとして、人間とその生活の営み、及び看護における人間の捉え方について考究していく。また、家族・地域・集団・組織の中に存在する個人の多様な価値観とその背景を踏まえ、固有の「ライフプロセス」の中で環境と相互作用しながら生活を営む生活統合体としての「人間とは」を探求することを通して、看護専門職者として対象理解を深めることをねらいとする。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 人間の生活に関連した概念について説明できる	○					○	○
2. 人間の生活行動の動因となるニーズについて説明できる	○					○	○
3. 成長・発達の視点からとらえた人間のライフサイクルについて説明できる	○					○	○
4. 人間を捉える看護の具体的な枠組みとしての「ゴードンの機能的健康パターン」とその営みについて説明できる	○					○	○

### 【授業の内容】

回数	学修テーマ	学修内容	
前期	1	コースオリエンテーション	
	2	生活とは、生活するとは	生活の定義・成り立ち (生活構造)、環境との相互作用
	3	生活の具現的な営みである生活行動とその動因	生活行動とニーズ
	4	日々の営みである「生活」を積み重ねる	ライフサイクル、成長・発達
後期	5~7	看護の対象を捉える：ゴードンの機能的健康パターン	ゴードンの機能的健康パターンの概観
	8	まとめ	授業のまとめ

### 【授業形態】 対面授業

### 【アクティブラーニングの内容・その工夫】

A：知識の定着・確認	○	日々の課題学修、単元毎の小テスト、ポートフォリオ作成	LMS、動画 *Moodle を活用
B：意見の表現・交換	○	発問、ディスカッション、ブレインストーミング、コンセプトマップ	
C：応用志向	○	チーム演習	
D：知識の活用・創造			

### 【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	授業資料・教科書での予習 (毎回 1h:計 12h)、ディスカッションの準備 (毎回 0.5h : 計 6h)
事後学修	授業内容の復習 (毎回 1h:計 12h)、学修テーマに即した課題 (各 1h : 計 5h)

### 【教科書】

- ①志自岐康子他編 (2022) : ナーシング・グラフィカ 基礎看護学(1) : 看護学概論 第7版、メディカ出版、(看護学概論で指定された教科書)
- ②Marjory Gordon、江川隆子監訳 (2006) : ゴードン博士の看護診断アセスメント指針—よくわかる機能的健康パターン、照林社

### 【参考書】 開講時に提示

### 【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	到達目標 1	到達目標 2	到達目標 3	到達目標 4
課題レポート	70%	○	○	○	○
学修貢献度	30%	○	○	○	○

### 【注意事項】

看護の対象論は、看護学を学ぶにあたっての学問的素地を培っていくための科目で、看護が関心を向ける「人間・生活」について熟考していく科目である。本科目での学びが看護実践としての「生活行動を支援する」ための対象理解に活かされること、並びに本科目の受講が、「看護とは何か」の問いを探求し続ける第1歩となることを期待している。

### 【備考】

教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験		清村(救急・重症集中ケア領域での看護師としての臨床経験)、原田・佐藤・野上(看護師)
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		看護の場で療養生活を送る対象者について、生活者としてのその人を探え、その人にとっての安全で安楽でその人らしい生活を営むことができるよう支援するための基本となる対象理解について学ぶ
授業形態		